

平成30年度 企画提案型協働事業  
関連課事前協議チェックシート

提案者名： こむnetちば  
提案事業名： 訪問傾聴ワーカー（見守り隊）養成講座 事業  
関連課等名： 高齢者福祉課 班等名： 包括支援係  
担当者名： 山田美香子  
内線等： 273

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- ② ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

- ① 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)  
・印西市第2次基本計画、第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第3次印西市地域福祉計画

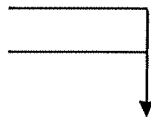
(3)法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- ③ 特に問題なし

(1または2の場合の具体的理由)

**(4)既に実施、または類似の事業等について**

- 1 既に実施している
- ② 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

・介護支援ボランティア養成講座や生活支援サポーター養成講座などを実施している。

**(5)実施効果について**

- 1 大きな効果が見込める
- ② 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

**(6)実施計画、実施方法について**

- ① 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

**(7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について**

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

・市としても今後、高齢者や独居世帯の増加が予測される中、地域での支援体制の構築は重要と考えており、既に地域福祉の担い手の育成に取り組んでいることから、市の事業として実施する妥当性はあると考える。

**(8) 事業費の積算について**

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

**(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。**

・傾聴ワーカー養成講座の実施については、特に問題はないと考えるが、講座終了後、訪問を開始する際に個人情報管理の問題などが生じる。この問題に関しては、市・団体共に認識しており、今後検討することとなっている。また、傾聴ワーカーとして活動する際には一定の知識、適性が必要と考えるため、受講終了後のフォロー体制についても今後検討していく予定である。

**(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について**

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

平成30年度 企画提案型協働事業  
関連課事前協議チェックシート

提案者名：特定非営利活動法人エコネットちば  
提案事業名：竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

関連課等名：都市整備課

班等名：管理係  
担当者名：小川  
内線等：742

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- ① 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

平成21年度より市民協働事業による維持管理事業を継続的に実施してきたことにより、環境美化が図られ地域の憩いの場が形成されている。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

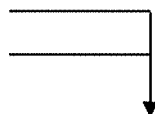
- ① 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)

基本目標1 恵まれた自然の中でやすらぎを持って生活できるまちをつくる 《生活環境》  
施策2 緑と調和した生活空間の形成と活用

(3)法令上の問題について

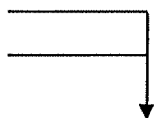
- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- ③ 特に問題なし



(1または2の場合の具体的理由)

#### (4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- ③ 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

#### (5)実施効果について

- ① 大きな効果が見込める
- 2 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

竹袋調整池と周辺地域において、四季の花が楽しめる花畑の整備、定期的な草刈、日々のごみ清掃等、年間を通じて実施し、快適な景観維持と環境を保全し、市民が憩える場となる。

#### (6)実施計画、実施方法について

- ① 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

経費及び年間スケジュール共に具体的である。

#### (7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

平成21年度より市民協働事業による維持管理事業を継続的に実施している。

### (8) 事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

平成30年度の市民協働事業による維持管理事業を基にしてあるため。

### (9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

協働事業活動事業者会員の高齢化があり、後継者の育成にも積極的に取り組む必要がある。

### (10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

市民活動団体が当事業を担うことにより、地域住民等と協働して、維持管理を実施することで地域の魅力向上に期待できる。